
龍の血

鹽崎 裕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

龍の血

【Nコード】

N1083A

【作者名】

鹽崎 裕

【あらすじ】

心臓が弱い妹（奈由）のために兄（晃）は龍の血を求め今旅に出る…。

ブローグ

「ここも違ったか…」

俺は今旅に出ている…旅の中で俺はある物を手にしなければなら
ない…。

その訳は、俺には奈由と言う妹がいる…奈由は小さな頃から心臓が
弱く医者には、あと余命1年と宣告された…それでじいちゃんの話
によると”龍の血”を飲めば奈由は助かると言われた。

俺はその”龍の血”を求めて旅に出た。

第一章：旅立ち

「晃よ…これを持っていけ！…かならずこの旅に役立つものだ。」

「わかった！…ありがとうございます。じゃあ行ってくるね。奈由をよろしくお願いします。」

そう言つて、元気よく晃は家を出ていった…。

「気よつけてな…無事に帰ってこいよ。」

晃は早速先程もらった物を見た。

「なんだこれ…コン…パス！？」

おじいさんがくれていたのはなんと、コンパスでした。

しかし普通のコンパスとは何かが違う…形も普通ではないし、あと妙な力が感じられます。

「何の役に立つのかな！？」

と、手に持つてそうばやいていると…コンパスが急に光だしました。「うわああああ！！！」

するとその光は空に向かっていきました。そして空に向かって行った光は西の方向へ飛んでいきました。

「びつくりしたあ…コンパスが爆発したかと思ったよ…じいちゃんも渡すときに何に使う物が言つてほしかったよ…。まあ西の方向に向かつていったんだから西に行かつてことか…」

そう言つて晃は西に向かって行くことにした。

しばらく西に向かつて歩いていけると広い森を見付けた。

「まさかここにあるわけないよな…位置を確かめてみるか…」

そう言つて晃はコンパスをだした。しかしコンパスは動かなかった…。

「…あれ！？動かないぞ…この前は動いたのにどうしてだ？？」

晃はコンパスを隈無くイジったらへんなボタンを押してしまった！すると光が空に向かっていきました。

「このボタンかあゝ前は偶然押してしまったな…さてと…光は…」

光の方向は森の方へ向かっていった…。

「やっぱりか…けど行くっきゃねえか!!」

そう呟き晃は森に向かい走っていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1083a/>

龍の血

2010年10月28日04時14分発行